



カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	今後検討する			3.9			6	7					12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	機関誌やホームページ等で公開												12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	薪ストーブ、ペレットストーブによる暖房を実施							7.2							13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	バイオマス発電所へ木材を供給している 皆伐地の再造林率向上に努めている												12.2	13	14	15					
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	コンプライアンスマニュアルにより実施 コンプライアンス研修会を開催している																		16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	コンプライアンスマニュアルにより実施 コンプライアンス研修会を開催している																			16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	コンプライアンスマニュアルにより実施 コンプライアンス研修会を開催している											8.2	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報保護規定、特定個人情報保護規定、特定個人情報安全管理最速等を制定している																				16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	使用していない																				16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	コンプライアンスマニュアルにより実施 コンプライアンス研修会を開催している					5						8		10		12	13	14	15	16	17
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	森林経営計画樹立により推進 民国連携による地域森林整備推進協定を締結している			3.9											12.4						
29	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	他企業と連携し積極的な木材関連商品開発を実施 営業企画課を設置し多方面への木材利用の推進を行っている																				9	
30	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	一級建築士事務所を設置し、公共施設の木質化を主とした木造構造建物や木製製品の設計を推進している							6							12	13	14	15				
31	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	各行政機関や県産材製品コーディネーター及び他企業と連携し、新たな木材関連製品の開発を実施している		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																									
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
																														
32	地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	森林所有者のみならず、地域の森林管理を森林経営計画樹立により推進				4									9		11	12			14	15			17			
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	毎年社会貢献ボランティア活動を実施				4													11					14	15		17	
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	県産材製品コーディネーター事業に参画し積極的に長野県産材の販路拡大に協力している															8	9			11	12	13					
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	「J Forest 長野森林組合ビジョン2030」を制定 Webによる組合長の朝礼配信														8	9										17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	コンプライアンスプログラムによる研修等の推進																									16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	森林組合に求められるニーズに応じた課、支所、事業所を設置																									16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	組合員への広報誌やHPIによる情報開示																									16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	リスクアセスメントを実施 コンプライアンスマニュアルにより実施																									16	
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	学校や企業、市民のボランティア活動に協力																									16	
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	リモートワーク体制の整備 【予定】事業継続計画整備																	9			11			13 13.1		16	
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	リスクに応じた継承策を都度検討している デジタル化により事業運営の効率化を推進															8	9									17		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）